

# 岡山赤十字病院 麻酔科

文責 第二麻酔科部長 谷西 秀紀

麻酔科では、常勤非常勤あわせて15名のスタッフで手術麻酔（周術期管理）、重症患者の全身管理（集中治療・救急医療）、ペインクリニックを一手に担います。

## 手術麻酔・周術期管理

全身麻酔・脊髄くも膜下麻酔で行うすべての手術麻酔を担当します（**令和6年度麻酔科管理症例実績 3504例**）。心臓麻酔、脳外科麻酔など高い専門性を必要とする麻酔から、外傷をはじめとする各科緊急手術まで幅広く対応しています。

令和4年度からは**周術期支援センター**を開設し、当日緊急以外のほぼすべての手術症例について、医師、看護師、薬剤師、歯科衛生士、栄養士など多職種が連携して包括的な患者サポートを行い、ベストの状態ですべての手術に臨んでいただける体制を整えています。

本年度（令和7年度）は術後の自己調節疼痛管理（Patient Controlled Analgesia: PCA）機器を**新たな機械式ポンプ**（クーデックエイミー）に更新し、患者満足度のさらなる向上を図ります。

とある日の麻酔風景



手術室エントランス



クーデックエイミー  
(大研医器websiteより)

## 集中治療 (ICU)



エントランス



陰圧対応の個室

侵襲度の高い手術の術後管理をはじめ、重症救急疾患（心肺停止蘇生後、重症外傷、敗血症、脳血管疾患、呼吸循環不全、重症中毒）および院内急変重症患者の診療を各科主治医とともにを行います（**令和6年度新規入室患者数 962名**）。

当科医師が24時間365日常駐する、Closed ICUとして運用し、令和5年度に制度化された日本専門医機構サブスペシャリティ集中治療科専門研修施設にも認定されています。

## 疼痛治療 (ペインクリニック)

日本ペインクリニック学会認定施設であり、ペインクリニック専門医を中心に現在は週3日（月・水・金）診療を行っています（**令和6年度延べ患者数1368名**）。

超音波ガイドによるブロック治療や薬剤治療、難治性疼痛患者に対する透視下ブロックや熱凝固にも対応しています。



外来エントランス



外来処置用ベッド

岡山赤十字病院麻酔科は主治医の先生方と協力し国内最高レベルの周術期管理・全身管理を提供します。外科系内科系問わず重症全身管理の必要な患者さんはお任せください！